

# 全国 3000 万署名・推進ニュース NO. 5

発行日: 2006年9月6日 発行: 全教・日高教・教組共闘

## スタート集会を開催し、ただちに街頭署名！ - 高知 -

「2006年度ゆきとどいた教育をすすめる3000万署名 高知県スタート集会」が、9月2日、会場あふれる45名の参加者で開催されました。主催は県教組、高教組とともに、県労連、民商、新婦人、民青、退職者団体、人権連、日本共産党などの多数の団体で構成する「子どもと教育を守る高知県連絡会」。

代表世話人の西森稔さんは、「今年の3000万署名の意味は、これまでと全く違う。3000万署名は教育基本法を語る絶好のチャンス、教育基本法改悪阻止のとりくみと一緒にすすめよう」と挨拶されました。続いて、全教の高橋が「高知から大きな波を～全国3000万署名の意義～」というテーマで、今日の教育条件をめぐる情勢と今年度の全国3000万署名の意義と課題を中心に1時間講演しました。

その後、新日本婦人の会、私学教組、高校生の3名から決意表明がありました。高知商高の高校生は、音楽関係の県外の大学に進学したいと考えていたが、親から「諦めてほしい」と言われた。部活を辞め、アルバイトをして、県内の大学を目指して頑張っている。友だちのなかには、親がリストラを受けて、進学を諦めざるを得ず、荒れた友もいる。高い学費のため、進学・勉強できない友がいるのは悲しい。全国3000万署名にとりくみたい と、語りました。

次に、県教組の西山書記長が行動提起。「フィンランドの子どもたちは落ち着いて、穏やか。なぜかという、1クラスは20人前後、図画・工作の実習には助手がつく。義務教育は給食費も教材費も無償だからと思った」と、8月に訪問したフィンランドの教育の様子を報告し、今年度の署名運動については「1人100筆集めることも大事だが、1人10筆の人を10人集めることが大切に、運動の輪を広げよう」と訴えました。

集会の最後に、高知私学教組の委員長が「今年の署名を多くの県民の力で成功させよう。この後、早速皆で街頭署名をおこなおう」と、閉会挨拶を行いました。

### 早速、グリーンロードで街頭署名

スタート集会終了後、高知の繁華街のグリーンロードで、1時間街頭署名が行われ、署名には30名が参加しました。ハンドマイクで訴え、風船を配りながら、署名を訴えました。親子づれ、高校生のグループ、自転車の中学生など、次々と足をとめ、署名して下さいました。1時間で317筆を集約しました。高知では、今年度15万筆を目標に取り組まれます。

### 自由民権の地 高知の市民は違う！

高知の皆さんと街頭署名に参加して、びっくり。第一に、風船を持って、大胆に通る人の前に立ちただかり、「30人学級実施のため署名してください」と訴えること。第二に、するとほとんどの方が怒らず、素直に署名に協力して下さること。さすが自由民権運動の地、高知。東京とは全く違う！と、感動しました。今年の高知は、15万筆を達成しそうです。（高橋）

### 私学助成 概算要求では30億円増額、しかし厳しい削減攻撃！

文科省は2007年度概算要求で、私学助成金については30億円増1068億5000万円（高等学校等経常費助成分）を要求し、今年「時限措置」であったものを「恒久的措置」へ変更させ、授業料直接助成に踏み込ませた授業料減免事業等特別経費を、2000万円増額の6億5800万円を要求しています。

しかし、「骨太2006」では私学助成を「対前年度比1%減」する方針を明記しています。このように明確に私学助成の項目を掲げて削減対象としたことは、これまでなかったことです。今後、査定のなかで、厳しい削減攻撃が予想されます。今年度の3000万署名は、私学助成の増額にむけても重要です。

